10/7 秋の味覚（うまい）を大収穫！ 荒砥小学校で稲刈り体験を実施

この日、荒砥小学校５年生の児童たちが中山地区の棚田で稲刈り体験を行いました。

５月に植えた苗は、黄金色に輝く立派な稲穂へと成長。地元農家の土屋明美さん（中山）と白鷹町歴史民俗資料館あゆみしるの職員の皆さんより指導を受けながら、鎌を使って昔ながらに稲を刈りました。収穫した稲を稲杭まで運び、ひとつひとつ丁寧に杭へかけていき、作業終了後にはたっぷり汗をかいていました。

今回子どもたちが収穫した新米は、学校給食にも提供される予定です。



▲稲刈り作業終了後に記念撮影

10/13 自分らしさを大切に― 東根小学校で「人権教室」を開催

この日、人権擁護委員６名が、東根小学校４年生の児童を対象に人権教室を開催しました。

「誰もがみんな幸せになるために生まれてきたこと。自分自身も、そしてお友達の人権も守ることが大切です」と説明。その後「白い魚とサメの子」の紙芝居を委員があたたかい声で読み上げ、命の大切さや尊さ、本当の自分らしさについて話し合いました。

この人権教室を通して仲間を思いやる気持ち、自分を大切にすることを学びました。



▲子どもたちに講話をする人権擁護委員の神居さん

10/15 長年の功績をたたえて 東根小学校が「東北交通栄誉賞」を受賞

長年にわたり、交通安全活動に尽力された団体に送られる東北管区連名表彰で、東根小学校が東北交通栄誉賞を受賞しました。

東根小学校は、学区内に国道 287 号が南北に縦断しており、児童の安全確保のため、地元駐在所や町、安協東根支部と連携し、通学路の点検を実施しています。特に、長年にわたり PTA 生活安全部の企画運営で交通安全標語の看板を作成し、校門や地区内に設置・展示している事業が、地域の交通事故防止の功績と認められ、山形県内２校の内の１校に選出され、今回の受賞に至りました。



▲東根小学校６年生の皆さん

9/29 9月は「認知症月間」おーばん白鷹店で啓発活動を実施

認知症月間とは、認知症についての関心と理解を深めるための期間です。今年度はパネル展示や街頭啓発活動を実施しました。

この日、認知症サポーター19名が在籍しているおーばん白鷹店のご協力のもと街頭啓発活動を実施。社員をはじめ、白鷹町認知症キャラバン・メイト連絡会の皆さんが店頭に立ち、啓発チラシや認知症サポーターのシンボルである「ロバ隊長」のストラップ等を配布しました。



▲おーばん白鷹店の店頭にて啓発活動を実施

10/3 白鷹町環境フェア スポGOMI白鷹大会を実施

この日、白鷹町中央公民館を会場に「白鷹町環境フェア」が開催されました。

スポGOMI白鷹大会では、5歳から80代までの方約40名計9チームが参加し、荒砥地区内を会場にして一定時間内に拾ったゴミの種類と量を競い合いました。第二部イベントでは、ごみクイズ大会を開催し、ゴミ分別などについて楽しみながら学べる機会となりました。

また、環境保全活動に取り組む最上川229ネットワークなどの団体の活動を紹介するブース出展がされ、多くの参加者が立ち寄りました。



▲スタート前に参加者全員で記念撮影

10/5 大接戦を制し、優勝を飾る 白鷹エンゼルスが表敬訪問

第35回山形県健康福祉祭ソフトボール大会が9月23日、山形県総合運動公園運動広場で開催され白鷹エンゼルスが出場しました。

試合は8チームによるトーナメント方式で行われ、試合を順当に勝ち進んだ白鷹エンゼルスは決勝で酒田SBCシニアと対戦。試合を7対6で制し見事優勝を果たされました。

そしてこの日、優勝報告のため来庁され、大会当日の試合の様子や優勝の喜びを話されました。このたびのご活躍、誠におめでとうございます。

▶大会終了後に全員で記念撮影
▼表敬訪問の様子

